

2025年度 「学びのコミュニティ学外活動奨励奨学金（正課授業）」 給付実績報告書

| | |
|----------|--------|
| 学部・教学機関名 | 国際関係学部 |
|----------|--------|

| No. | 科目名称 | クラス | 開講期間 | 担当教員氏名 | 対象となった学習活動の区分 | 対象となった学習活動 | 活動期間 | 国内・国外 | 主たる活動場所 (国内：都道府県・都市名/国外：国・地域名) | 給付者人数 |
|-----------|-----------------------|-----|------|---------------|------------------------|--|------------|-------|-----------------------------------|-------|
| 1 | 専門演習 | 62 | 春学期 | CHEUNG YUKMAN | 調査または資料収集 | 香港における都市文化構造とサブカルチャー産業に関する実地調査。都市における文化情報発信の仕組み、芸術・サブカルチャーの形成と流通、そしてそれらが観光や国際的文化交流とどのように接続しているのかを、多角的に考察・記録・分析することを目的とした。 | 7月4日～7月8日 | 国外 | 香港 | 4 |
| 2 | 専門演習 | 66 | 春学期 | 山口 智美 | 調査または資料収集 | 大阪・関西万博について、その意義と課題、様々な国々の文化の展示としての表裏の分析を、実際に足を運んでの参考観察の手法を通じて行なった。 | 7月12日 | 国内 | 大阪 | 9 |
| 3 | 専門演習 | 43 | 春学期 | 渡邊 松男 | 調査または資料収集 | ボスニア・ヘルツェゴビナおよびクロアチアでの聞き取り調査、紛争関連施設視察。在「ボ」日本大使館、国連開発計画（UNDP）「ボ」事務所での現地職員へのインタビュー実施、サラエボ、スレブレニツァ、モスタール、およびドロブニクでの内戦の残滓の視察や記録展示の見学。 | 7月24日～8月1日 | 国外 | ボスニア・ヘルツェゴビナ/クロアチア | 15 |
| 4 | 専門演習 | 36 | 春学期 | 星野 郁 | 調査または資料収集 | 地域産業の再生と持続可能な地方創生を目指す淡路島での調査。淡路島の自然や食などの地域資源を活かし、観光と経済活性化を高みさせている地方創生のモデル企業である淡路観光開発公社でのヒアリングを実施。 | 7月28日～29日 | 国内 | 兵庫 | 17 |
| 5 | 専門演習 | 60 | 春学期 | 白戸 圭一 | 調査または資料収集 | 人口減少に直面する離島（奄美大島）における産業振興に関する取材。地場産業である「開運酒造」へのインタビュー、世界自然遺産地域の海洋サンゴ・魚類等の保全、世界遺産地域のマングローブ林の保護・観光産業化、特別天然記念物アマミノクロウサギが生息する森林における保護活動とエコツアーの調査。 | 7月28日～31日 | 国内 | 鹿児島 | 26 |
| 6 | 専門演習 | 39 | 春学期 | 嶋田 晴行 | 調査または資料収集 | ラオスにおける日本の援助の現場視察。JICAの現地事務所、JICAラオス日本センター、JICA協力隊の派遣先施設、現地NGO（ジャバハート、ホワイアン職業訓練センター）への訪問とインタビューの実施。国際関係研究科のラオス人卒業生との懇談。 | 8月4日～9日 | 国外 | ラオス | 9 |
| 7 | Peace Studies Seminar | R | 春学期 | 小林 主茂 | 調査または資料収集 | 広島平和記念資料館等での資料収集。広島平和記念式典、国際NGOのWorld Friendship Centerが主催する被爆者との交流イベント、国連UNITAR広島オフィスが主催する若者世代と核廃絶に関するシンポジウムへの参加。 | 8月5日～8日 | 国内 | 広島 | 14 |
| 8 | 専門演習 | 14 | 春学期 | 西村 智朗 | 調査または資料収集 | 国際人道法を含む安全保障法および国際人権法を理解することを目的に、日韓関係及び南北朝鮮問題を素材とした資料収集及び現状視察。在韓日本大使館前の従軍慰安婦像、戦争記念館、ソデモン刑務所歴史史館および平和文化陣地への訪問。 | 8月19日～22日 | 国外 | 韓国 | 13 |
| 9 | 専門演習 | 21 | 春学期 | 岩田 拓夫 | 学会または競技会への参加 | 国際連合・アフリカ連合が共催した首脳級の国際会議であるアフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development）のサイドイベント（主にJICA、JETRO主催イベント）に参加し、パネル傍聴、国際機関・企業ブースの見学、アフリカ外交官との交流を実施。 | 8月20日～22日 | 国内 | 神奈川 | 7 |
| 10 | 専門演習 | 13 | 春学期 | 南野 泰義 | 調査または資料収集 | 人間の安全保障をキーワードに、戦争と平和、日本の近代化の歩みと政治制度の変容をどう理解するのかという問題意識のもと、下関市/北九州市門司区にある明治維新および下関条約に関連する下関歴史博物館、日清講和記念館での調査施設および下関市立歴史博物館、出光美術館出光創業資料室等での調査実施。 | 9月3日～4日 | 国内 | 山口・福岡 | 6 |
| 11 | Advanced Seminar | 85 | 春学期 | 渡辺 宏彰 | 調査または資料収集 | 中国が『一帯一路』構想を推進する中でのモンゴルの対外経済政策を考えるための実地調査。モンゴル国立銀行、モンゴル投資・貿易庁への訪問、担当官へのインタビュー実施。 | 9月5日～10日 | 国外 | モンゴル | 4 |
| 12 | 専門演習 | 22 | 春学期 | 川村 仁子 | 調査または資料収集 | 日本のマイノリティであり、近代化の中で同化政策や差別の対象となってきたアイヌについて学ぶ研修の実施。旧札幌農学校演武場（札幌市時計台）、ウポポイ民族共生空間、国立アイヌ民族博物館への訪問。 | 9月11日～12日 | 国内 | 北海道 | 11 |
| 13 | 専門演習 | 31 | 春学期 | 松田 正彦 | 調査または資料収集 | 国内の地域開発事例についての現地調査（静岡県川根本町）の実施。地域発展に関する特産品産業と観光産業に焦点を当て、行政組織担当職員、社会課題解決型民間企業の担当者への聞き取り調査を実施。 | 9月17日～18日 | 国内 | 静岡 | 20 |
| 14 | Advanced Seminar | 83 | 秋学期 | 越智 萌 | 学会または競技会への参加 | 赤十字国際委員会（ICRC）が主催する国際人道法模擬裁判大会への参加。国際的な模擬裁判大会の国内予選に参加することを通して、国際法を用いる国際裁判がどのように行われるのか、そして法実務家が国際法をどのように用いるのかを体験し学んだ。（結果は準優勝） | 11月7日～10日 | 国内 | 栃木 | 9 |
| 15 | 専門演習 | 65 | 秋学期 | 松坂 裕晃 | 調査または資料収集 | 堂本印象美術館における見学、作品鑑賞・分析。卒論で文化表象を扱っている学生を中心に、芸術作品の直接触れ、その物質性も含めて考察することの重要性を学ぶとともに美術史に関する文献も合わせて読み、視覚的な作品の分析法の初歩を学んだ。 | 45981 | 国内 | 京都 | 9 |
| 16 | Advanced Seminar | 84 | 秋学期 | 辻本 登志子 | 調査または資料収集 | 京都府のウトロ平和祈念館での博物館見学とインタビュー、地域コミュニティにおけるフィールドワークの実施。 | 45677 | 国内 | 京都 | 6 |
| 17 | 専門演習 | 63 | 秋学期 | 園田 節子 | 他大学・教育機関・研究機関との合同の取り組み | 韓国釜山市で文化・歴史関連の施設を訪問し、東アジアとそこにおける日本の位置性について学ぶとともに、現地の大学・国立韓国海洋大学校東アジア学科の学生との交流を実施。 | 1月26日～29日 | 国内 | 韓国 | 2 |
| 合計 | | | | | | | | | 181 | |